

# ハザードマップの作成：留意すべき事項

**災害履歴情報**：過去に発生した災害の場所、規模（範囲）、発生形態、発生時期など

**資料精度**：使用する情報の作成年代、疎密、精度、解析条件・解析精度、土地条件・関連施設などの経年変化の反映状況など

**使用する基図**：解析に求められる精度や成果として表示する内容など、目的に応じた精度や縮尺の基図を使用する

# ハザードマップの作成：計画のポイント

**作業方針の明確化**：災害要因、対象とする災害形態、ハザードマップ利用者、ハザードマップに盛り込むべき情報、マップの掲示形式等について事前に検討し、作成方針を明確にする

**使用基図の選定**：対象とする災害の種類、対象範囲、解析の実施等作業内容、マップの掲示形式等に応じ適切な縮尺・精度の基図を選定・準備する

**作業実施体制**：地域特性に精通した技術者、学識経験者はじめ、関係機関などと協力体制を築く

# ハザードマップの作成：積算時の留意事項

**既存資料収集**：収集する既存資料の種類、入手の容易さなどを考慮

**学術マップ作成の必要性**：現地調査や解析など、実施の必要性及び解析内容を考慮

**既存データの携帯**：デジタルデータ入手の可否、アナログデータしかない場合のデータ作成作業などを考慮

**ハザードマップ作成数量**：作成するマップの種類、作成枚数などを考慮

**印刷など**：印刷の種類、使用する用紙の種類、原稿構成時間などを考慮